

2023年9月期第1四半期決算

MRI 三菱総合研究所

2023年2月6日

- 1 2023年9月期第1四半期決算
- 2 2023年9月期業績予想
- 3 トピックス

2023年9月期 第1四半期のまとめ

- 前同比増収・増益
- TTC堅調、ITSは金融・カード中心に好調を維持

売上高： 実績 274.5億円 前同比 +21.0億円

- 前同比増収で1Q過去最高
- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)：大型案件反動減により売上微減
- ITサービス(ITS)：金融・カードが好調維持、一般産業(民間)も増収

経常利益： 実績 26.7億円 前同比 +4.3億円

- 前同比増益で経常利益1Q過去最高
- TTC：大型案件反動減、成長投資を不採算影響解消で吸収し、増益
- ITS：金融・カード中心に伸長、1Qとして過去最高

純利益： 実績 12.6億円 前同比 Δ 7.6億円

- 前期特別利益(投資有価証券売却益14億)の反動で前同比減

第1四半期連結決算 <前同比>

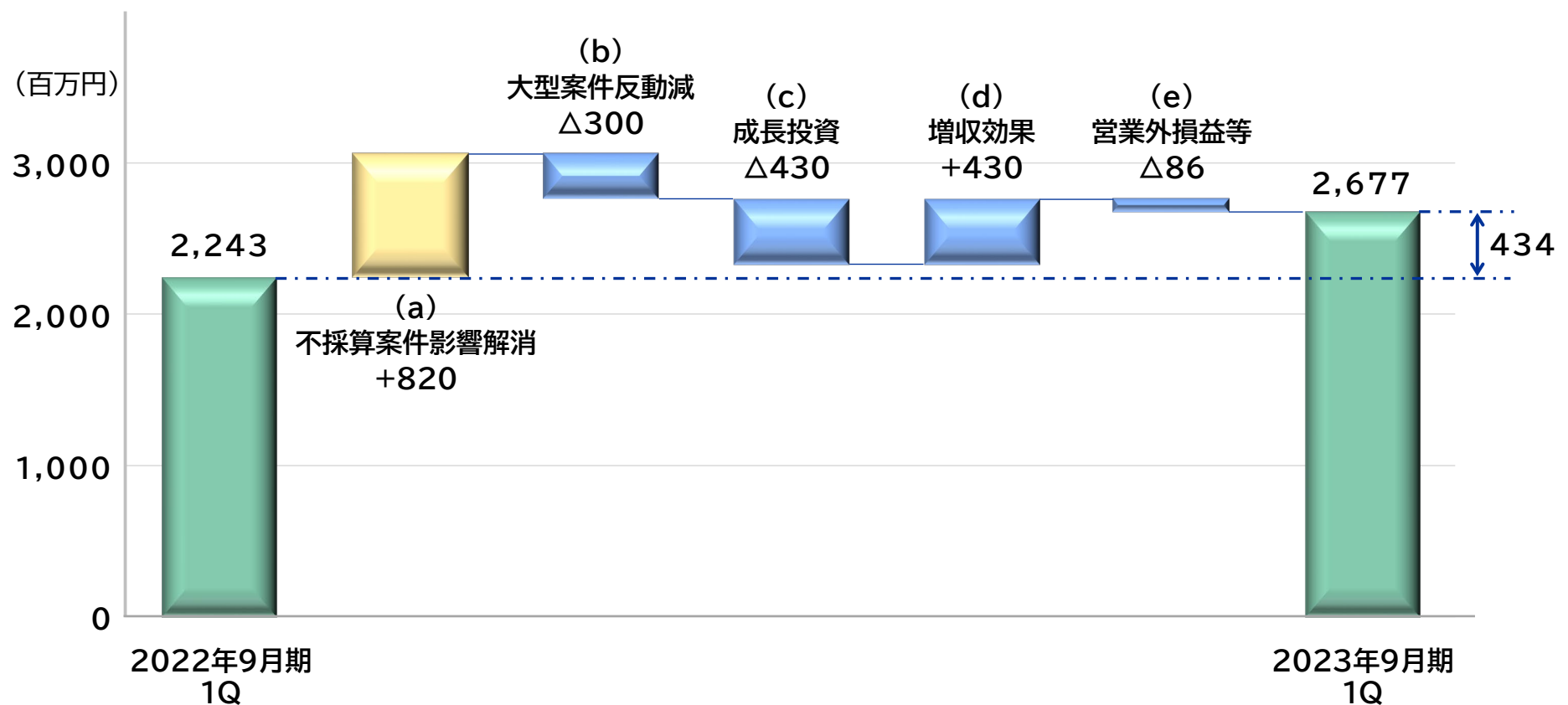
- 増収とともに売上総利益率、営業利益率が向上
- 販管費等も増加率を抑制、営業利益率向上に寄与

(百万円)

	2022年9月期 1Q(10~12月)	2023年9月期 1Q(10~12月)	前同比	
			増減額	増減率
売上高	25,358	27,459	+2,101	+8.3%
売上総利益	5,997	6,586	+588	+9.8%
売上総利益率	23.7%	24.0%	+0.3P	
販売費及び一般管理費	4,162	4,227	+64	+1.5%
営業利益	1,834	2,358	+524	+28.6%
営業利益率	7.2%	8.6%	+1.4P	
経常利益	2,243	2,677	+434	+19.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,026	1,261	△765	△37.8%

経常利益の変動要因 <前同比>

- TTCは、大型案件反動減(b)△3億と成長投資(c)△4.3億を、22/9期1Qの不採算案件影響解消(a)+8.2億で打ち返し
- ITSは、増収効果(d)+4.3億により増益
- 以上に営業外損益等(e)△0.8億を含め、連結ベースで前同比+4.3億



シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2022年9月期 1Q(10~12月)	2023年9月期 1Q(10~12月)	前同比	
			増減額	増減率
売上高	9,035	8,846	△189	△2.1%
営業利益	568	710	+141	+24.9
営業利益率	6.3%	8.0%	+1.7P	
経常利益	899	938	+39	+4.4%
受注高(1Q)	5,628	3,891	△1,736	△30.9%
受注残高	30,176	29,914	△261	△0.9%

主なポイント

- 前期大型案件の反動で売上高減も、利益率改善・増益
- 経常利益前同比横ばい(大型案件反動減・成長投資を不採算影響解消で打ち消し)
- 受注高は、前期大型案件の縮小等に伴い減少、受注残高は前同比ほぼ横ばい
- 概ね堅調な業績も、今後の受注ピークに向けて営業活動を一段と強化

ITサービス(ITS)

(百万円)

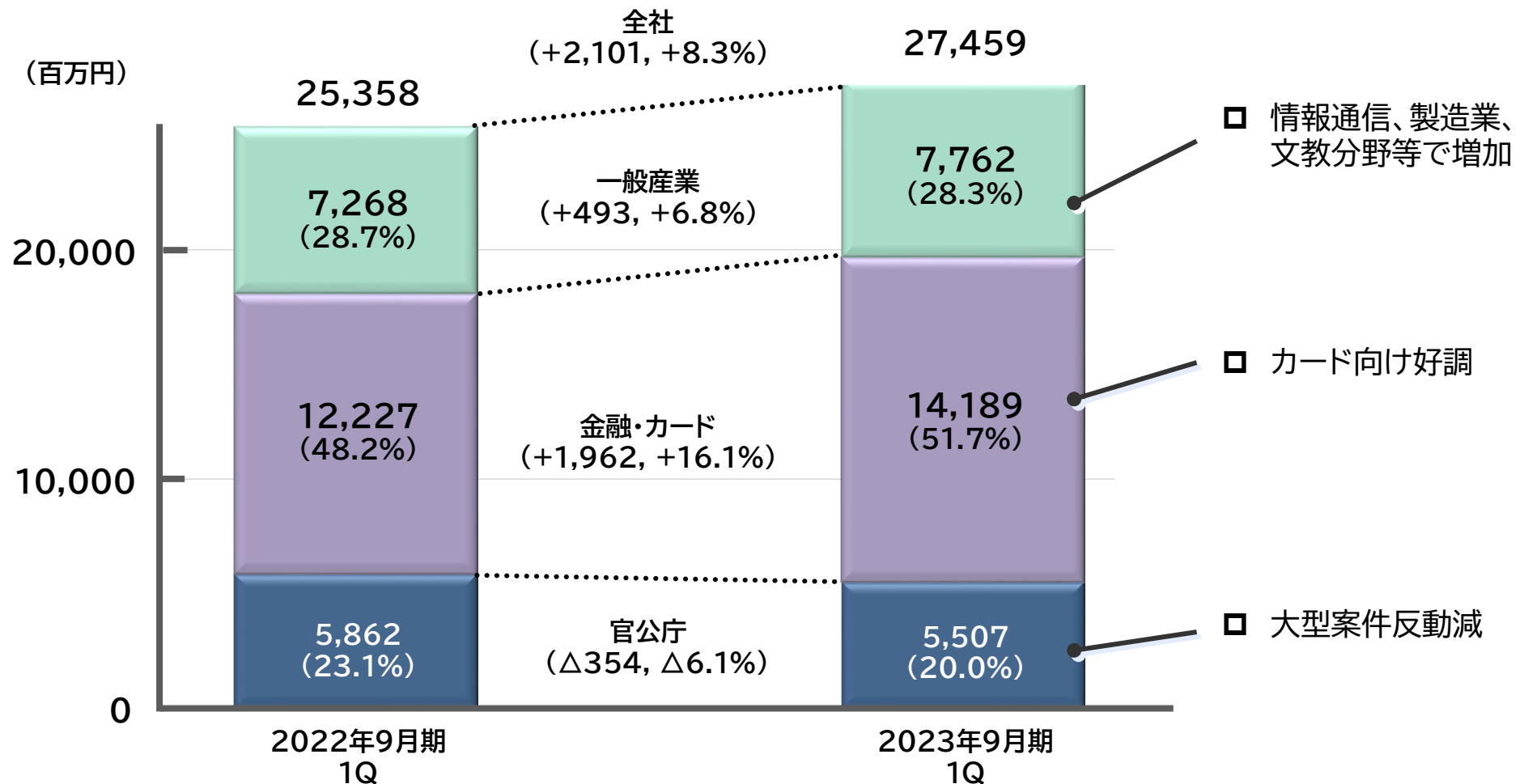
	2022年9月期 1Q(10~12月)	2023年9月期 1Q(10~12月)	前同比	
			増減額	増減率
売上高	16,323	18,613	+2,290	+14.0%
営業利益	1,257	1,643	+385	+30.7%
営業利益率	7.7%	8.8%	+1.1P	
経常利益	1,336	1,734	+398	+29.8%
受注高(1Q)	19,023	16,708	△2,315	△12.2%
受注残高	46,867	45,240	△1,627	△3.5%

主なポイント

- 金融・カードを中心に業績けん引、増収・増益
- 受注高・受注残高は、金融・カード大型案件の反動減により減少
- 売上・利益は好調持続、営業活動強化で受注上積み図る

顧客業種別売上高 <前同比>

- 金融・カードが引き続き好調維持、官公庁は大型案件反動減により微減
- 一般産業(民間)が前同比増



参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

(百万円)

		2022年9月期 1Q(10~12月)	2023年9月期 1Q(10~12月)	前同比	
				増減額	増減率
T T C	官公庁	5,617	5,305	△311	△5.6%
	金融・カード	906	840	△65	△7.2%
	一般産業	2,511	2,700	+188	+7.5%
	TTC 計	9,035	8,846	△189	△2.1%
I T S	官公庁	245	202	△42	△17.5%
	金融・カード	11,320	13,349	+2,028	+17.9%
	一般産業	4,757	5,062	+304	+6.4%
	ITS 計	16,323	18,613	+2,290	+14.0%
合計		25,358	27,459	+2,101	+8.3%

- 1 2023年9月期第1四半期決算
- 2 2023年9月期業績予想
- 3 トピックス

2023年9月期 連結業績予想 (期初予想から変更なし)

(百万円)

	2022年 9月期実績	2023年 9月期予想	前同比	
			増減額	増減率
売上高	116,620	118,000	+1,379	+1.2%
シンクタンク・コンサルティングサービス	48,548	46,000	△2,548	△5.3%
ITサービス	68,072	72,000	+3,927	+5.8%
営業利益	9,165	9,300	+134	+1.5%
営業利益率	7.9%	7.9%	+0.0P	
経常利益	10,493	10,600	+106	+1.0%
シンクタンク・コンサルティングサービス	5,190	4,900	△290	△5.6%
ITサービス	5,301	5,700	+398	+7.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,707	6,500	△1,207	△15.7%
1株当たり当期純利益(円)	474.67	399.99	△74.68	

- 1 2023年9月期第1四半期決算
- 2 2023年9月期業績予想
- 3 トピックス

トピックス:最近のリリース

日付		タイトル
【MRI】		
2023.2.6		<u>「MRI DEMO DAY 2023」を開催</u> <u>社会課題の解決を目指し、スタートアップとの連携・共創の取り組みを紹介</u>
2023.2.6		<u>埼玉県と自治体DX推進に向けたメタバース活用を実証</u>
2022.12.21		<u>大阪・関西万博『未来社会ショーケース事業』の「EXPO共創事業」に協賛</u>
2022.12.20		<u>阪急三番街で実証開始 環境配慮行動を促進</u>
2022.12.5		<u>工芸とハプティクス(触覚技術)の融合による新しい価値伝達と社会生活の創造に向けた共創プロジェクトを発足</u>
2022.11.24		<u>堺市の堺エコライフポイント事業にアプリを提供</u>
2022.11.14		<u>分散型エネルギーリソース運用支援サービス「MERSOL」の提供を開始</u>
2022.11.14		<u>めびきフィナンシャルグループと審査AIサービスの正式導入に合意</u>
2022.11.11		<u>新しい地域別電力需要予測(DFES)の開発に着手</u>

トピックス:最近のリリース

日付		タイトル
【DCS】		
2023.2.1	ESG	北九州市に新規拠点開設にむけた準備室を設置
2023.1.31	DX	クラウド利活用のパフォーマンスを最大化するサービスブランド「FQ Smart+(エフキュー スマートプラス)」を立ち上げ
2022.12.21	DX	北海道大学と三菱総研DCSが反射スペクトルデータを用いたスマート農業に関する共同研究において、稲の生育状況の指標化に向けた取り組みを開始
2022.12.12	DX	熟練技能をAIで再現し、製造品質の安定化を支援するAIサービスのテスト販売を開始

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所